

# 議会報告会・意見交換会検討結果

令和2年度に開催しました議会報告会並びに意見交換会でいただいたご質問やご意見について、各常任委員会や特別委員会等で検討し、その結果をまとめました。

ご意見等がありましたら、遠慮なく各議員または議会事務局までお申し出ください。

## 議会放送

**問** 江府町はユーチューブで議会放送が見られる。日南町はどうか。

**答** 今後、検討していく。

## 議会の役割

**問** 議会の町行政の監視対応が重要になりつつある。

**答** 町民の負託に応えるよう努める。

## 議会報告会の開催日時

**問** ・農繁期を過ぎれば、休日、昼間でもよい。  
・平日の夕方、夜の開催を希望する。  
・女性、若い人の参加が少ない。  
・地域ごとに開催するのは大変なので、町全体で1回あれば良い。  
・希望する日時は個々に異なるので、来て欲しい人を決めて、議会が計画してすれば良い。

**答** 次回開催の参考にさせていただきます。

## 町有財産

**問** 道の駅レストランの増築など投資が回収できるのか。改修に対してリターンが計算されていない。(費用対効果)

**答** 民間に比べて、町の施設は優遇されている。

**問** 町として活性化施策の中で建設から取り組んでおり、作った施設がまちづくりの中に活かされるよう対策をとっている。



道の駅のレストラン

## 観光事業

**問** 日南町は、元々観光地ではなく観光と土産物とのつながりができていない。観光のターゲットはどこにするか。

**答** 観光の実態を調査して検討する。

## 移住・定住

**問** 移住者のターゲットを誰にするのか。若い人が必要。

**答** 魅力がない。若者にアピールできるものがない。職種が選べない。サービス業が少ない。賃金が低い。すぐ住める家が少ない。

**答** 農林業の新規就業者や日南病院、日南福祉会などの福祉関係の職場を求める若い人が多い。すぐに住めるような住宅の整備が急務である。

## 婚活事業

**問** 婚活で成果が出ている。続けて欲しい。

**答** 継続している。

## 職員採用

**問** 町職員の縁故採用はないのか。町外からの職員が多い。町内にいた職員も町外に出て行く。

**答** 職員の縁故採用はない。西部地区の共通試験合格者の中から採用している。

## 地元業者

**問** 町内に住んでいただきたいが、強制はできない。

**答** 町内で購入可能な商品は、地元の商店で買って欲しい。県内の市町村では、地元業者優先で購入している。

**答** 日南町の当初予算で計上されている備品等の購入実態を調査して検討する。

## 小規模企業振興

**問** 小規模企業振興に関する条例を制定してほしい。

**答** 3月定例会で、日南町小規模企業振興基本条例を制定した。

**空き家撤去**

**問** 空き家の解体撤去がすすまない要因に、更地にすれば固定資産税が6倍になるということがある。一般的な宅地なら1万円程度であるが日南町は特例により10年間は税の減免措置がある。恵まれた条例であるが、町民への周知が足りない。廃屋の解体が進めば解体業者の収入も増加する。更地バンクも検討すべきではないか。

**答** 減免措置要綱の周知を図る。また、更地バンク制度についても検討していく。

**林業研修**

**問** エナジーにちなむの時はインターンシップ制度があったが、林業アカデミーではどうか。研修もエナジーは2年間だったが、アカデミーは1年間になっているが。

**答** 林業アカデミーでも

2回のインターンシップを行い、学生の進路決定に役立てている。研修年限は、入学希望者の年代層を考慮して、より早く就業できるように決定されたものである。

**コンテナ苗事業**

**問** スギ、ヒノキなどのコンテナ苗は、どこで生産するのか。

**答** 町内で4カ所の候補地をあげて検討されたが、旧阿毘縁小学校跡に決定した。ウッドカンパニー(株)が年間12万本の苗木生産を事業化する。

**林業**

**問** 日南町の林業は補助金頼みなので材価を高くして山主が儲かる仕組みにならないか。

**答** 材価は市場で決定するもので、近年価格の低迷が続いている。

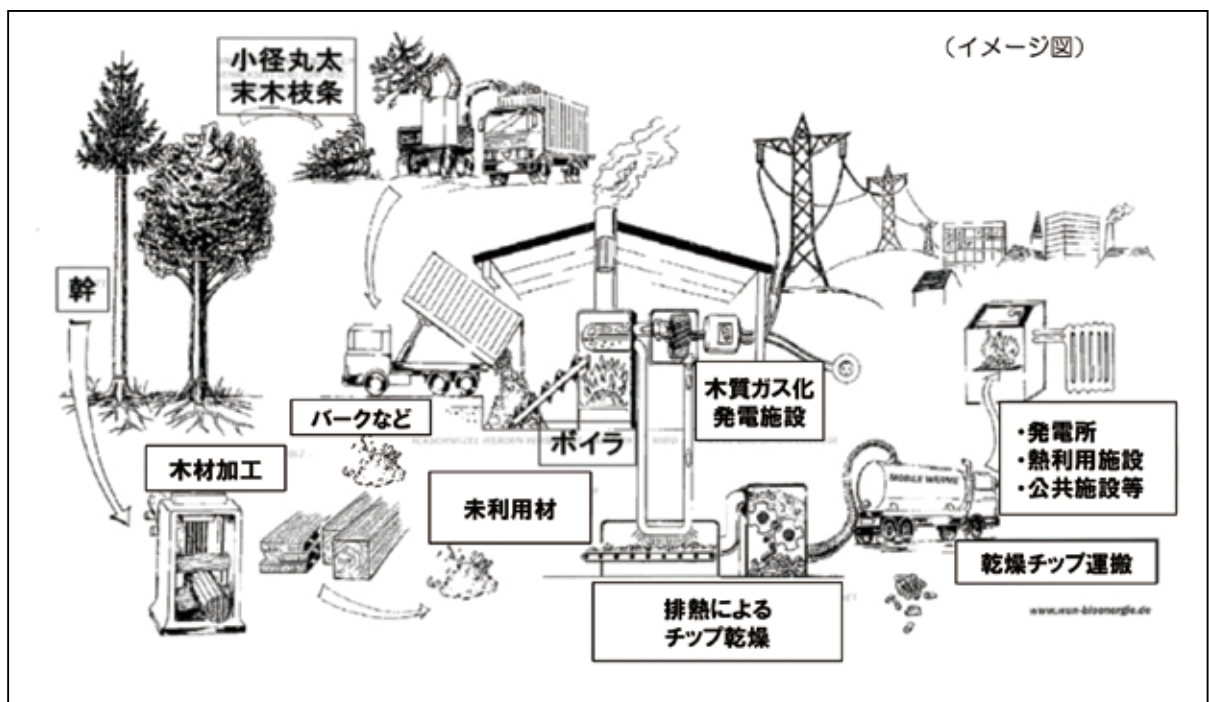
オロチや日南大建の木材加工所もあり、需要が伸びており希望は持てる。

**問** ウッドカンパニーニチナン(株)は製材事業を中止したが、林業の町には製材所が必要では。

**答** 臨時の株主総会で休業を決定された。再開するには場所や事業規模などの再検討が必要。

**問** 第2木材団地に計画中の木質バイオマス発電事業の内容を説明して欲しい。原料が不足した場合、端材、短コロ、枝葉や建設廃材の利用はできるか。

**答** バイオマスガス化発電(500キロワット)により発電した電力を、FIT(固定価格買い取り制度)により中国電力に20年間単価40円/キロワット時で販売する。日南町森林組合も事業に出資しており、中心となって原料の供給を行う。端材、短コロなどは集積できたら利用できるが、建設廃材は使えない。





## スマート農業

**問** スマート農業など若者が興味を持ち、日南町に残りやすい土台づくりを推進して欲しい。

**答** スマート農業など農業の魅力向上は、国、県の制度を使い進めていく。子どもたちに先進的な農業を体験させるなど食農教育を進める。

## 農地管理

**問** 現状は、条件の悪い圃場も無理をして小作している。農地を守るには、かつて整備された圃場の再整備が必要である。

**答** 不良圃場の再整備は、農地維持や作業効率向上、スマート農業の推進には必要である。

**問** 守る農地と諦めざるを得ない農地を決めないといけない。

**答** 守る農地の線引きは必要と認識している。地域の人・農地プランの話し合いを進めていただきたい。農業委員会にも話し合いの促進を求める。

**問** 「これ以上の規模拡大は無理」という法人が多い。その要因として、乾燥・調整と育苗の限界に起因する声がある。

**答** 法人の連携も考慮し



農地維持に欠かせない水路管理

ながら、体力の強化とスケールメリットを追求し、国、県の制度の活用が課題解決に求められる。

**問** 大型農家のはざまを埋める兼業農家も守らないと、法人の負担が増える。

**答** 小規模農家も対象となる中山間地域等直接支助や、町の意欲ある農業者支援事業の活用を奨める。

## 小作料

**問** 日南町の小作料は統一されていない。山寄せなど低反収圃場も他所と同じ小作料を要求されている。統一した指針を示して欲しい。

**答** 小作料の統一は、条件の違いなどから難しい。人・農地プランや農地利用最適化の中で協議いただけるよう農林課、農業委員会に働きかける。

## 食育・農業体験

**問** 学校の食育で食料の安全保障を教育してほしい。現在の農業体験学習

も、昔ながらの手作業ではなく、現代的な機械化された農業の体験を取り入れて欲しい。

**答** 自給率の向上や多面的な機能についての教育、さらに機械化された農業の体験も進める必要がある。

## 雇用・人材

**問** 法人として新規雇用するには、社会保険料など福利厚生充実と年間雇用でないと応募がない。それには冬場の仕事が必要である。

**答** 令和3年度より「担い手育成対策事業費補助金」で社会保険料掛金助成を行い、会社負担を軽減し、担い手確保による規模拡大や技術の継承等を推進する。通年雇用には、他業種との連携による特定地域づくり事業の取り組みなどを推進する。(半農半X)

## トレーニング施設

**問** トレーニング施設が

欲しい。

**答** 町民アンケートでも要望があり、中心地域に建設する構想はあるが具体的に進んでいない。ランニングコスト等や建設の是非も含めて検討が必要である。

## 子どもの遊び場

**問** 子どもの遊び場が欲しい。中心地域のプレイロットは誰が管理しているのか。遊具を増やして欲しい。

**答** プレイロットや既存の公園の整備も含めて、子どもの遊び場について検討する。



中心地域にあるプレイロット